

都道府県名：愛知県

【経営の概要】

対象組織：●●きゅうり部会（西尾市、一色町、吉良町）

生産者57名、栽培面積15.6ha

対象作物：促成キュウリ、10月上中旬に定植し翌年6月末までの長期一作型

【対策の内容】

1 低温伸長性品種の導入

慣行品種「エテルノ」などに比べ、低温に対する栽培適応性の高い品種として「久輝Ⅲ」、「トップラン」の導入推進を図り、同品種の栽培面積率は平成18年度作の26%に対し、平成19年度作は81%となった。同品種は慣行品種に比べ夜温を1.0～1.5℃下げても草勢が保てるため、低温管理をしても芯止まりになりにくく、褐斑病の発生も少ない特性がある。

2 循環扇の導入

循環扇はハウス用に改良されたサーキュレータで、ハウス内の空気をかくはんして温度むらを抑える効果を持っている。循環扇を設置した場合、同じ温度設定でも加温機の運転時間を短くすることができる。補助事業を活用して、循環扇の導入推進を行った結果、導入面積率は平成18年度作の22%に対し、平成19年度作は57%となった。

【対策の実践効果】

低温伸長性品種と循環扇の両技術を導入した場合の効果

	取組前（A）	取組後（B）	B/A
燃料の種類と使用量	A重油：7.5KL/10a	A重油：6.4KL/10a	85%
加温に係る燃料経費①	600,000円/10a	512,000円/10a	—
対策に係る追加費用②	—	182,000円/10a	—
①+②	600,000円/10a	694,000円/10a	116%

※A重油は平成19年度作の平均単価80円/Lで試算した。②は1/3の補助金助成額を含んでいる。

重油使用量削減の取り組みにより、生育や収量等への影響は認められなかった。また、循環扇は夜間加温時のみでなく、生育初期の高温対策や雨天時の高湿度対策にも有効であった。

【今後の課題】

従来は栽培品種を1品種で統一していたが、低温伸長性品種の導入により、栽培品種が多様化（現在3品種）した。それぞれの品種特性を十分に発揮できるよう、より詳細な技術指導が必要となった。

【問い合わせ先】

愛知県西三河農業普及指導センター 電話：0563-57-4154